



自由民主党福岡市議団

# 稲員としお 市政報告

2024年号 Vol.8

## 一隅を照す



### 令和5年度

- 福祉・都市委員会 委員
- 少子・高齢化対策特別委員会 委員
- 文化・スポーツ推進協議会 委員
- 福岡市都市計画審議会 委員
- 福岡市都市景観審議会 委員
- 中央保健所運営協議会 会長
- 福岡市病院事業運営審議会 委員
- 福岡市保健福祉審議会 委員
- ニューはつらつスポーツの会 顧問  
(ソフトボール・バレーボール)
- 中央区剣道連盟 理事
- 福岡市空手道連盟 顧問

## 福岡市動物園にゾウが来る! 令和6年春受け入れ予定

私は平成30年12月議会において動物園に「ゾウ」と「サイ」を導入する様求める質問をしました。高島市長からは全力で取り組むとの答弁を頂き、その後「サイ」と「ゾウ」の導入が決定しました。令和4年4月にはミャンマーから「ゾウ」を受け入れる予定でしたがその後、ミャンマーでのクーデター、コロナ禍、そしてロシアによるウクライナ侵攻などの影響により、令和4年の受け入れができませんでした。しかしやっと令和6年春頃に「ゾウ」4頭を受け入れる事が出来そうです!!

皆様、お楽しみにお待ち下さい!!



※写真はイメージです。

以前、子ども達がゾウ舎の前でゾウがいない事でガッカリしている姿を見たことから、議会で取り上げた私としては、子ども達の喜ぶ顔が目に見えます



※写真はイメージです。

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づき、より多くの人に  
見やすく読み間違えにくいデザインの文字を採用しています。

稲員としお事務所 〒810-0042 福岡市中央区赤坂3-1-24 TEL:092-714-1080 FAX:092-741-0161

# 「思いやり」の心を持って市政へ取り組んで参ります。

令和5年6月議会にて

## 市営住宅駐車場について

市営住宅内に在宅医療・在宅介護やデイケアの送迎等の医師やヘルパーの方々が車を駐車するスペースが無い場合、大きな負担となっております。

そこで市営住宅内に来訪者用の駐車場の設置を求めました。

※令和5年夏から福浜住宅などでモデル的に来訪者用の駐車場の設置が開始されました。



## 一人一花運動について

市が推進する「一人一花運動」において福岡の街が花やみどりで明るくなり市民の方々はもちろん、来訪者に癒しを与え、本市の魅力の向上に繋がっております。しかし、花壇の近くに水道設備などの無い場所が多く、特に夏場の水やりが大変になっておりますことから水やりの課題を解決すべく質問を致しました。



※写真はイメージです。

## 宿泊税について

令和2年4月から福岡市が導入した宿泊税をこれまで以上に有効に活用すべく又、観光客の増減により大きな影響を受ける宿泊事業者の方々の声も参考にしながら本市の観光振興に努めてもらう様求めました。

※ホテルなど宿泊事業者が本市の代わりに宿泊税の徴収をしています。



令和5年12月議会にて

## MICEの振興について

観光の観点から見て、  
福岡城には天守閣がある方が良いとの発言もしました!!

現在誘致を推進している大型MICEのみならず福岡市が進めている施策にも繋がるMICEを本市主催で開催する事で施策の充実につなげ、本市への更なる経済効果を高めると共に、福岡市の魅力を海外へアピールしていく機会を増やす様求めました。また、福岡のシンボルである福岡城の活用による観光振興を求めています。



MICEとは — 企業等が行う研修旅行、国際機関、団体・学会等が行う国際会議・展示会・イベント等の事。

## こどもアドボカシーについて

こども達が1人の人として大切にされる社会にすべく

全国的に小・中学生のいじめや不登校が毎年増加している中、本市においても様々な対策をしていますが、残念ながらいじめや不登校は増加し続けています。根本的な原因はこども達がストレスを心にため込み、自身の苦しい思いや様々な考えを親や周りの大人達に伝える事ができず、その気持ちが爆発してしまっているのではないかと感じております。そこで自身の思いや考えを整理し、表明できる手助けをする「こどもアドボケイト」を活用し、こども達の心の声を聞いてあげ、対応をしていく事の重要性を質問しました。



※写真はイメージです。

こどもアドボカシーとは — 子どもが意見や考えを表明できるようにサポートする事。

アドボケイトとは — 子どもアドボカシーを実践する人。NPO法人などが養成講座を実施している。親や学校とは違う第三者として子ども達の声を聞いてあげ、その声を社会に反映させていく人。